

2026年7月(実行月6月)ゴルフ場利用税 月別ゴルフ場数・課税者数・非課税者数 【速報値】

●一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会調べ

(注1)「ゴルフ場利用税」の納付に基づいたデータのため、「2026年7月」は「2026年6月利用者数」となります。(〇月)が実行月
(注2) 本数字は速報値であり、精査の結果変わることがある。(例：県営ゴルフ場の隣接県との利用者数調査等)
(注3) 内容を無断で複写・複製等することは、著作権の侵害となりますので、ご注意ください。

	都道府県地域区分	2025年(R7) 7月(6月)				2026年(R8) 7月(6月)					
		ゴルフ場数	課税者数	非課税者数	総利用者数	ゴルフ場数	課税者数	対前年同期増減数(人)	非課税者数	対前年同期増減数(人)	総利用者数
1	北海道	140	410,340	120,804	531,144	140	384,663	-25,677	115,353	-5,451	500,016
2	青森	13	34,916	10,123	45,039	14	34,246	-670	9,513	-610	43,759
3	岩手	23	47,670	14,953	62,623	23	44,032	-3,638	14,116	-837	58,148
4	宮城	37	95,999	30,358	126,357	37	85,121	-10,878	27,712	-2,646	112,833
5	秋田	15	28,336	10,945	39,281	15	26,738	-1,598	10,825	-120	37,563
6	山形	16	31,333	11,679	43,012	16	28,485	-2,848	11,642	-37	40,127
7	福島	36	90,962	33,679	124,641	36	81,981	-8,981	33,613	-66	115,594
8	茨城	114	371,447	113,167	484,614	113	327,802	-43,645	108,208	-4,959	436,010
9	栃木	115	314,696	102,523	417,219	112	287,384	-27,312	99,965	-2,558	387,349
10	群馬	66	156,126	58,190	214,316	65	143,309	-12,817	57,961	-229	201,270
11	埼玉	83	256,849	90,939	347,788	82	223,969	-32,880	85,842	-5,097	309,811
12	千葉	158	551,382	139,931	691,313	159	481,665	-69,717	132,475	-7,456	614,140
13	東京	21	59,112	26,291	85,403	21	53,268	-5,844	25,258	-1,033	78,526
14	神奈川	52	158,810	72,969	231,779	52	139,580	-19,230	67,148	-5,821	206,728
15	新潟	40	97,234	36,758	133,992	40	91,974	-5,260	37,335	577	129,309
16	富山	15	43,062	14,579	57,641	15	43,540	478	15,582	1,003	59,122
17	石川	25	66,381	20,428	86,809	24	66,879	498	21,753	1,325	88,632
18	福井	13	31,192	11,025	42,217	13	30,869	-323	11,619	594	42,488
19	山梨	40	115,213	35,238	150,451	40	101,700	-13,513	32,935	-2,303	134,635
20	長野	66	122,042	53,467	175,509	65	111,648	-10,394	53,126	-341	164,774
21	岐阜	88	233,653	78,116	311,769	88	223,708	-9,945	81,182	3,066	304,890
22	静岡	90	240,504	77,502	318,006	88	210,074	-30,430	73,329	-4,173	283,403
23	愛知	55	145,652	58,971	204,623	55	133,926	-11,726	59,583	612	193,509
24	三重	66	207,952	60,594	268,546	66	180,433	-27,519	58,584	-2,010	239,017
25	滋賀	44	134,619	34,628	169,247	44	125,225	-9,394	35,999	1,371	161,224
26	京都	32	87,575	27,730	115,305	32	82,536	-5,039	29,769	2,039	112,305
27	大阪	39	128,793	43,144	171,937	37	119,738	-9,055	42,860	-284	162,598
28	兵庫	157	434,338	120,005	554,343	157	403,459	-30,879	121,637	1,632	525,096
29	奈良	35	90,518	27,253	117,771	35	83,246	-7,272	25,903	-1,350	109,149
30	和歌山	19	40,757	12,552	53,309	19	34,868	-5,889	12,268	-284	47,136
31	鳥取	11	21,144	8,155	29,299	11	19,554	-1,590	7,582	-573	27,136
32	島根	7	15,560	6,179	21,739	7	14,848	-712	6,421	242	21,269
33	岡山	37	86,210	31,732	117,942	37	77,542	-8,668	30,061	-1,671	107,603
34	広島	47	109,075	37,214	146,289	44	99,347	-9,728	37,210	-4	136,557
35	山口	32	65,048	21,376	86,424	32	61,391	-3,657	21,584	208	82,975
36	徳島	14	32,718	11,608	44,326	14	26,946	-5,772	10,725	-883	37,671
37	香川	18	42,125	14,474	56,599	18	35,567	-6,558	13,348	-1,126	48,915
38	愛媛	21	43,870	15,314	59,184	21	39,131	-4,739	14,828	-486	53,959
39	高知	12	24,644	9,628	34,272	12	21,869	-2,775	9,114	-514	30,983
40	福岡	58	165,132	41,316	206,448	58	163,307	-1,825	41,126	-190	204,433
41	佐賀	24	47,536	13,986	61,522	24	46,579	-957	15,170	1,184	61,749
42	長崎	23	38,526	13,568	52,094	23	35,532	-2,994	13,813	245	49,345
43	熊本	41	90,378	25,852	116,230	41	86,033	-4,345	26,828	976	112,861
44	大分	23	56,294	17,463	73,757	23	50,759	-5,535	17,444	-19	68,203
45	宮崎	27	55,712	19,766	75,478	27	43,017	-12,695	14,440	-5,326	57,457
46	鹿児島	27	52,196	18,415	70,611	27	43,528	-8,668	15,859	-2,556	59,387
47	沖縄	31	94,765	22,462	117,227	31	76,850	-17,915	18,675	-3,787	95,525
	全国計	2,166	5,868,396	1,877,049	7,745,445	2,153	5,327,866	-540,530	1,827,323	-49,726	7,155,189

「2026年6月のゴルフ場利用状況(速報値)」について

1. 全体動向および利用区分別の分析

2026年6月の全国ゴルフ場総利用者数は7,155千人となり、前年同月(7,745千人)比で590千人減少(△7.6%)いたしました。利用区分別では、「課税者数」が5,328千人(前年同月比△541千人・△9.2%)と減少し、全体を下押しする形となっております。一方、「非課税者数」は1,827千人(同△50千人・△2.6%)と微減にとどまりました。しかしながら、近年の傾向を鑑みますと非課税層(シニア層等)の減少も徐々に顕著になりつつあり、これまでは課税層が全体を維持していた側面もあったのではないかと推察されます。非課税層の推移を楽観視するのではなく、課税層の減少要因や全体への影響を注視していくことが肝要ではないかと考えられます。

2. 地域別動向と北陸エリアの状況

地域別では、関東甲信越(2,932千人→2,663千人、△9.2%)、東海(△7.4%)、近畿(△5.4%)などの主要エリアや、四国(194千人→172千人、△11.8%)をはじめ多くの地域で前年を下回る結果となりました。そうした中、全国で唯一前年実績を超えたのが北陸エリア(+1.9%)です。総利用者数は前年の187千人から190千人に増加し、富山県(+2.6%)、石川県(+2.1%)、福井県(+0.6%)の3県ともに前年を上回る健闘を見せております。北陸の要因といたしましては、①前年の能登半島地震や不順な天候からの反動・回復傾向、②非課税利用者が前年比+6.3%と着実に伸びたこと(シニア層等への集客の結実)などが寄与しているのではないかと捉えられます。

3. 今後に向けた課題と対応案

今後の需要喚起に向け、以下の取り組みを検討していくことが望ましいのではないかと考えております。

◆課税利用者の継続利用促進：

減少が見られる課税層に向け、プレー環境の充実や魅力的な提案を行い、継続利用に繋げていくことが大切ではないでしょうか。

◆地域に応じたアプローチと好事例の共有：

減少傾向が顕著な地域に対しては丁寧な状況把握と支援に努めるとともに、北陸エリアで見られた好事例(非課税層に向けた取り組みなど)を参考にしながら、他地域へも良い工夫を広げていくことが期待されます。